



松陵健見

発行：2024年9月1日 能代高校東京同窓会 発行責任者：吉田真由美 編集：会報誌グループ 題字：山田晃一(第42期) 印刷：株式会社毎栄



2023年10月7日、能代高校東京同窓会の総会・懇親会が開催されました(8ページに報告を掲載)。校歌斉唱は初めて歌詞をスクリーンに映し出して実施(写真①)に写る出席者の視線が上向きなのはそのためです。講演のお話と演奏は第38期の金野鈴道さん(写真②)、懇親会の司会とアトラクションは第67期の大村小町さん(写真③)でした。

2024年度(令和6年度)能代高校東京同窓会総会のご案内

【日時】2024年10月5日(土)

- 受付 12:00 ~
- 総会 12:20 ~
- 講演会 13:00 ~

講師 佐藤 禎 稔 さん(第45期)
帯広畜産大学 特任(名誉)教授

- 懇親会 13:30 ~ 16:00

【会場】アルカディア市ヶ谷 3階 富士の間

【年会費】2,000円

【懇親会費】8,000円

*お振込、または当日受付にて受領します。
*若者特例があります(4ページを参照ください)。

【出欠】

*同封のハガキにご記入のうえ9月25日(水)までに投函ください。

*またはQRコードを読み込んで、申し込みフォームから送信してください。



〈総会・懇親会の詳細は本誌4ページに掲載しています。〉

東京同窓会の歩みとこれから

東京同窓会会長 第46期 吉田 真由美

昨年は、ようやくコロナ禍前と同じ規模で総会・懇親会を開催することができました。初参加の10名は32期生から83期生まで幅広く、久しぶりに出席したという方も多く盛会となりました。出席のみなさま、幹事のみなさま、ありがとうございます。



今年の総会・懇親会は10月5日(土)です。アルカディア市ヶ谷でたくさんの新しい出会いと再会があることを願っています。

能代高校は来年創立百周年を迎えますが、東京同窓会が本校同窓会の東京支部として誕生したのは、今から48年前の1976年(昭和51年)でした。学校の歴史のほぼ半分に当たります。過去の会報をたどってみると、実際にはその20年も前から、東京で有志が集まって活動していたようです。大先輩たちの母校に寄せる熱い思いや、支部として立ち上げるまでのご苦労がしのばれます。

その後1981年に、同窓会本部と連携しつつ主体的に活動するため、独立した組織「能代高校東京同窓会」となって今に至っています。

時代を経て交通のアクセスがよくなり、インターネットが普及して、故郷との距離感はずいぶん近づいたように思われます。それでも、同窓生が年に1回東京で顔を合わせて、故郷のこと母校のことを語り合う場があるのは貴重なことといえます。同窓生同士、SNSでの交流も盛んに行われていますが、実際に会って話すことには意味があり、楽しみがあると、コロナ禍を経た今、身にしみて感じています。

時代とともに同窓会の運営の仕方も変わってきていますが、先輩方に感謝するとともに、その思いと仕組みを次の世代にうまくつないでいきたいと考えています。未来に向けて持続可能な東京同窓会であることを目指してまいりますので、会員の皆さまからもアイデアや提案をお寄せいただければ幸いです。今後ともご理解ご協力のほどお願いいたします。

22年ぶりの母校勤務

能代高等学校長 第54期 平川 研

東京同窓会の皆様には日頃より母校に対して深い愛情と心強いご支援、ご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。今年4月に赴任いたしました平川研と申します。母校での勤務は、教諭のとき以来22年ぶりであり、気を引き締めながら、後輩たちと毎日楽しく過ごしております。どうぞよろしくお願いたします。



さて、今年度は153名の新生を迎え、全校生徒数525名でスタートいたしました。秋田県では高校の定員割れが多くなっておりませんが、本校も地域の少子化により定員に満たない年が続いております。地域の皆さんに能代高校の魅力を発信し、何とか中学生に選択してもらえる学校であり続けたいと思っております。

今年は、例年通り、5月のゴールデンウィーク明けに県北総体が始まり、春季全県野球大会や全県総体でも能高生のはつらつとした活躍が見られました。東北大会も終了し、主な結果としては軟式野球部が6年ぶり2度目の東北優勝を成し遂げました。体操部男子・女子、柔道部女子は九州でのインターハイ出場が決まっております。

また、校内では、6月の行事ウィークに体育大会、能高祭が立て続けに行われました。特に能高祭は「翔破」のテーマのもと、多くの地域の方々に来校していただき、大いに盛り上がりました。

行事や部活動で一旦区切りのついた3年生は、能高祭後、「切り替えの集会」を行い、気持ちを新たに自分の目標に向かって努力を続けております。今後とも文武両道に励んで参りますので、引き続き能高生たちを応援いただきますようお願いいたします。

結びになりますが、来年度の創立百周年に向けて新たな歴史と伝統を築いていくことができますよう、東京同窓会の皆様には、引き続きご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、会員の皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

希望をともに語ること

能代高校同窓会会長 第39期 山本 達行

東京同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。各々の道で元気に活躍されておりますことを祈っております。



ご承知のように、母校は来年創立百周年を迎えます。現時点での予定では令和7年10月10日(金)に山田久志氏(37期)の記念講演を含む記念式典を行い、併せて記念誌の発行や招待試合等の記念行事も計画されています。同窓会としても、同窓会名簿の発行と各種記念行事を支える金銭的な援助を通して盛り上げていきたいと考えています。

名簿の発行・予約の案内はすでに発送していますが、届いていないなどの事態も発生しています。同窓生間の話にさせていただき、届いていないようであれば学校に連絡してください。また名簿の充実・精度確保のために、是非とも「住所不明」の会員にも連絡をとっていただきたいと思っております。

加えて、今年の12月から「記念事業募金」を始めます。同窓会報「松陵」と一緒に趣意書・納付書をお送りしますので、記念行事の充実と在校生

の活躍、母校活性化の一助としてご協力いただけますようお願いいたします。

さて地元の秋田魁新報では、「地方創生～失われた十年とこれから」と題する連載が続いています。これは10年前に日本創成会議が指摘した「消滅可能性自治体」に触発され、政府の大方針のもと、大急ぎで作られた地方創生案の多くが期待された成果を出していないことの検証記事です。今年の人口戦略会議報告では、秋田市を除く全24市町村が「消滅可能性自治体」となっています。またライフル総研の調査では、「住民が地域の未来に希望を持っている」割合が全国最下位であるとの報告もあります。こうした記事を読んで、かつて村上龍の小説で「この国には何でもある。ただ、『希望』だけがない」と言った少年のことを思い出しました。少子高齢化が顕著になり、社会の各分野でそれへの対応と変化が求められるようになりました。教育の分野も例外ではありません。ただいかなる状況になろうとも、子供に夢や希望を持たせることは地域の責任であり、能代高校は「教えるとは、希望をともに語ること(校長室前の色紙にあるルイ・アラゴンの言葉)」を実践し続ける学校であってほしいと思っています。ご支援、ご協力をお願いします。

(注:本年10月中旬までに届いた名簿の変更・訂正は新名簿に反映されます。)

能代高校東京同窓会 組織図(2024年6月8日現在)

会長(46 吉田真由美)		幹事長(50 石井 鉄美)			
副会長(46 秋林 泰樹)		副会長(47 野村 一哉)			
総務グループ	財務グループ	総会グループ	会員増強グループ	情報発信グループ	会報誌グループ
45 袴田 邦夫	46 秋林 泰樹※	66 高橋 弘志	50 石井 鉄美※	53 梶原 禎子	55 淡路 和子
53 梶原 禎子※	40 小林 哲	41 小河 範也	50 伊川 千良	45 袴田 邦夫※	43 須藤 正喜
	50 佐藤 孝也	49 今野 泰則	66 高橋 弘志※	45 山谷めぐみ	51 河田 康史
	54 佐藤 篤規	49 近藤 敏仁	68 幸坂 智子	62 大高 忠勉	55 嶋田久美子
	78 今西 拓磨	54 佐藤 篤規※	68 大塚さと子※	68 幸坂 智子※	68 大塚さと子
アーカイブ担当			78 今西 拓磨※	68 大塚さと子※	
45 袴田 邦夫※				77 山崎 愛実	

数字は通算卒業期 ■ 網掛けはグループ・リーダー ※は兼任

名誉顧問	26 八柳 昭義
顧問	39 菅原 渉
監査役	44 庄内 俊憲
監査役	45 三浦 洋

■他の各期幹事
 【26期】畠山信孝【29期】宮腰興紀【30期】熊谷幸夫【31期】馬場富男
 【32期】高谷誠【34期】西川廣正【35期】干場革治【37期】若狭秀巳【39期】大塚進、諸沢隆一【45期】大塚雄蔵、真崎裕【46期】石井喬【49期】片谷浩之、田村盛仁【53期】吉田順【67期】小野立、滝田祐作

2024(令和6)年度 能代高校東京同窓会総会・懇親会のご案内

【日時】2024年10月5日(土)

受付 12:00～

総会 12:20～

講演会 13:00～

懇親会 13:30～16:00

【会場】アルカディア市ヶ谷 3階 富士の間

【年会費】2,000円

*世帯制割引:夫婦とも同窓生の場合は1世帯2,000円

*新卒者特例(今年は第94期):1,000円

【懇親会費】8,000円

*若者特例(第83期～第94期):無料(年会費のみ)

*同伴家族:半額(4,000円)、小学生以下無料(年会費不要)

*東京同窓会以外の同窓生、友人:懇親会費のみ(年会費不要)

◎各会費は当日受付にて受領します。

◎欠席の方は年会費をお振込ください。

【出欠】

*同封のハガキにご記入のうえ9月25日(水)までに投函ください。

*または、ハガキに印刷されているQRコードをスマートフォンで読み込んで、申し込みフォームより送信してください。

*住所等の変更届けも、上記のハガキか申し込みフォームをご利用ください。

◎未使用のハガキは当日会場で回収しますので持参ください。

●アルカディア市ヶ谷 アクセス

JR/地下鉄(有楽町線・南北線・都営新宿線)

市ヶ谷駅より徒歩3分

千代田区九段北4-2-25 電話03-3261-9921

<https://www.arcadia-jp.org>



講演会

「夢のロボットトラクタが 食料生産の現場を変える」

講師:佐藤禎稔さん(第45期)

北海道はわが国の食料基地と呼ばれています。しかし、労働力不足は深刻であり、持続的な食料生産が困難になってきています。十勝地方は欧米式の大規模畑作酪農地帯であり、農家一戸当たりの耕地面積は本州の20倍以上に達し、近年最先端のスマート農業が展開されています。

日本はロボット大国ですが、農業分野でもロボット化が進んでおり、今回の東京同窓会では研究中のロボットトラクタの現状について紹介します。



《講師プロフィール》さとう ただとし

帯広畜産大学特任(名誉)教授。

1956年生まれ、能代市出身。東雲中学校、能代高校、帯広畜産大学(農業工学科)卒。日本農業工学会フェローなど、北海道の大規模農業を背景に畑作用農業機械の自動化、ロボット化、モノづくりに関する教育研究に45年以上従事、現在も北海道のスマート農業の普及に関する事業展開に参画。

若手参加助成について

能代高校同窓会には「同窓会活動促進事業」があります。この制度により、若手同窓会員(30歳まで、今年は第83期～第94期)は同窓会本部からの助成金を利用し、懇親会費は無料とします(ただし懇親会費無料の適用は対象期間のうち一人2回まで)。

2023年度(令和5年度)総会・懇親会の出席者(同年度会費納入者)

【26期】佐々木高博(二中) 【29期】赤塚鉄男(東雲)、宮腰興紀(一中) 【30期】熊谷幸夫(一中)、田中勝美(二中) 【31期】馬場富男(二中、旧姓工藤) 【32期】笠原強*(沢目)、高谷誠(深浦) 【34期】西川廣正(東雲) 【35期】平川徳道(一中)、干場革治(八森)、小山内与治兵衛*(下岩川) 【37期】若狭秀巳(森岳)、今野廣隆(浅内) 【38期】金野正道(響)、佐藤能雅(東雲)、菊地忠美(東雲) 【39期】諸沢隆一(一中)、菅原渉(下岩川)、大塚進(二中)、金野峻明(一中)、山本達行(富根、能代から参加) 【40期】熊澤朝子(二中、旧姓山崎)、北田実(二中)、智田農(富根)、北川雅夫*(塙川) 【41期】金子裕二(浜口)、田中亨(響) 【42期】加藤正人(一中) 【43期】菊池忠夫(藤里)、福岡武(二ツ井) 【44期】庄内俊憲(八森) 【45期】三浦洋(森岳)、平野信任(一中)、河田昌俊(一中)、加賀谷正*(上小阿仁)、袴田邦夫(二中)、高松武史(金岡)、山谷めぐみ(二ツ井)、大塚雄蔵(二中)、井上清起(一中)、佐藤晃(二ツ井) 【46期】秋林泰樹(二ツ井)、吉田真由美(一中、旧姓工藤)、大山望(二中)、斉藤靖雄(沢目)、佐々木恵(鶴川)、平川尚(一中) 【47期】野村一哉(二中)、越中谷真喜(一中)、大川清士(二中) 【48期】藤田幹也(二中)、大黒規正(森岳)、東海林憲昭*(一中) 【49期】武田悟*(東能代)、近藤敏仁(山本)、片谷浩之(二中)、大塚聡子(一中、旧姓佐藤) 【50期】石井鉄美(一中)、佐藤孝也(一中)、伊川千良(藤里)、鈴木裕子(一中、旧姓西田)、村井清蔵*(一中)、堀内学(二中)、北村よう(二中) 【51期】河田康史(檜山) 【53期】梶原禎子(八竜)、工藤勉(琴丘)、荒川正明(一中、能代から参加) 【54期】遠藤いぶき(東能代、旧姓畠山)、鷲谷明子*(一中) 【55期】淡路和子(一中)、嶋田久美子(常盤、旧姓工藤) 【62期】大高忠勉(峰浜) 【66期】高橋弘志(二ツ井) 【67期】柳谷真澄(一中)、滝田祐作(一中)、小野立(一中、能代から参加) 【77期】山崎愛実(東雲)、伊藤正孝*(一中) 【83期】笠井織夢*(峰浜) 【87期】佐藤友希子(二中) 【88期】佐藤美那子(二中)

●同窓生出席者数 83人 ●同窓生家族 1人 ●*印は初参加者10人 ●出身中学名は卒業当時の校名

2023年度(令和5年度)総会 欠席しますと回答いただいた方と会費納入の方

【24期】山縣輝輔# 【25期】畠豊彦#、町田次男#、工藤尊久#、栗原俊一# 【26期】畠山信孝#、伊藤倫子# 【27期】山田邦夫#、若松正雄、大村真陸郎#、檜森寛#、石嶋喜直#、斉藤秀夫#、栗原優子# 【28期】須田正巳# 【29期】塚本祝永#、宮腰瑞夫#、下間弘道、笹木広澄、嶋田雄右# 【30期】檜山章一 【31期】菊地宏道、高松和夫、小田幸雄#、佐藤昭夫、熊谷博雄# 【32期】森田弘、杉江昭宏#、吉岡良隆、菊地豊# 【33期】清水靖子#、金田英成# 【34期】畠山昇#、斎藤彰悟#、棚橋東峰# 【35期】横田真理子# 【36期】智田慎正#、細田静夫、本庄眞、浅野友城 【37期】袴田大蔵、小野津世子#、小杉山久晴、梨本主税# 【38期】工藤博幸、荒川久敏#、戸松伸一#、福田満男#、成田正廣、松谷康雄#、赤塚剛#、佐藤春香#、能登洋一#、市川正敏# 【39期】住吉修平、直嶋博明#、茂呂忠良# 【40期】小松文明#、小川孔輔#、平澤知明#、小林哲#、松岡明#、武田清悦、増田春樹# 【41期】水木秀範#、小河範也、大久保英生 【43期】五代儀彦秀#、白木仁#、幸坂和彦#、須藤正喜#、石塚信一#、高橋敦子# 【44期】山崎友久#、石川幹夫、宮城伸一郎#、渡辺隆幸#、森岡雅信#、武石栄伸、佐藤伸 【45期】嶋田清人、奈良博文#、能上慎也#、原田康男#、小杉山乙矢#、鎌田泰宏#、港基樹#、金子豊#、真崎裕#、加藤秀樹#、相澤正和# 【46期】大塚晃#、佐藤康准#、福岡博、鷲谷太郎#、清水文彦# 【47期】山田肇#、佐野輝彦、大久保昭佳#、大槻務#、腰山達哉#、菊地真 【48期】淡路正則、佐藤公樹#、野村松信#、小林金雄#、小嶋寛#、北林萌子# 【49期】佐藤互#、納谷学、鎌田健二#、田村智昭、田村盛仁#、今野泰則、薄井司 【50期】大塚大#、碓井則子 【51期】袴田亘#、村田祐子#、安田勉#、平塚征悦#、平塚佐子#、池内史彦#、川口行彦#、工藤治#、鶴谷則子# 【52期】井瀧正彦# 【53期】堀内博司#、鈴木美千子、吉田順# 【54期】斎藤伸一、小山内恵樹、佐藤篤規#、今佐都美、三浦佳奈子、佐藤周之# 【55期】谷内宏行、大山顕#、浅野敦志 【56期】部村由美子# 【59期】畠山真吾#、日吉由紀子 【60期】安井正彦 【66期】畠山幸# 【68期】大塚さと子、幸坂智子# 【86期】工藤龍

●#印は会費納入の方 ●年会費世帯制割引の適用者2組は2名の名前を掲載しました。

亡くなられたとお知らせいただいた方

14期 宮原茂悦(2022年10月)、21期 佐藤篤朗(2020年8月)、24期 今村宏司(2023年3月)、24期 豊田誠、24期 山縣輝輔(2024年1月)、25期 民谷恒二(2023年1月)、25期 畠豊彦(2024年3月)、26期 八柳昭義(2024年7月)、31期 岸部武彦(2023年7月)、31期 熊谷博雄(2023年3月)、31期 柴田光夫(2022年12月)、32期 菊地豊(2024年5月)、34期 長岡忠光(2022年7月)、37期 加賀咲男(2022年7月)、44期 橋本周平(2021年7月) ()内は逝去された年月

謹んでご冥福をお祈りいたします。

※このページは敬称を略しました。

東京同窓会元会長 畠豊彦さんを偲んで

能代高校東京同窓会の元会長、畠豊彦さん(第25期)が2024年3月30日、88歳で逝去されました。畠さんは1999年から2005年(平成11年から17年)まで会長を務め、会の発展に尽力されました。謹んでご冥福をお祈りするとともに、感謝の意を表します。



2000年10月6日、東京同窓会総会での会長あいさつ。

畠先輩の事務所に集まって

第45期 三浦 洋

畠豊彦先輩の訃報に接し、永年にわたり東京同窓会にご尽力いただきましたことに深く感謝致しますとともに、改めて謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

私にとって忘れられない畠先輩(以下先輩)との思い出があります。それは私が総会に初めて出席した1998年(平成10年)当時、世の中で認知され始めたホームページ(HP)が話の発端でした。新会長に就任された先輩から東京同窓会のHPの制作を依頼され、同期の袴田邦夫君と協力してHPを立ち上げることになったのです。会報第10号p11に、これに関する顛末「ホームページ設立までの舞台裏」(三浦記)が記録として残っていましたので、そこから引用します。

HPの打ち合わせは会長、事務局長および幹事の有志が御徒町にある畠会長の事務所に集まり、2月から5月までの都合4回行った。～(中略)～遅々として進まない。それどころか、目の前に用意されたビールは打ち合わせを始めて10分もしないうちに栓が抜かれ、気が付けばHPに関係無い話ばかり。今となっては、飲みながら打ち合

わせをしたと思うしか…。(本当に畠会長にはお世話になりました。)

さらに、当時はアメ横にあった「ふぐのきくち」(店主は第43期の菊池忠夫先輩)に河岸を変えての反省会が楽しみとなり、いつも先輩にご馳走になっていたと記憶しています。店のキープボトルには毎回中身を注ぎ足して臨戦態勢に備えていました。偶然居合わせた同窓生にもボトルの中身を振舞われ、気が付けばHP検討の反省会が同窓生の懇親会、つまりミニ同窓会になることは珍しいことではなく、先輩はいつもニコニコしながら話の輪に加わっていたものです。そうです、あの時以来今まで続いている私のアメ横通いは、少なからず先輩のお蔭(先輩のせいだとは言えません)だと思っています。

そして待望のHPは2000年(平成12年)5月13日に無事開設。24年間に21万回以上のアクセスを経て今日に至っています。なお、今年になってから吉田会長の下でHPの再構築作業が進んでおり、間もなく装い新たなHPがお目見えするはず。あの時先輩と飲みながら検討したHPは四半世紀近くが過ぎた今、生まれ変わろうとしています。

ここまで綴ったところでさらに訃報が届きました。引用文に登場した当時事務局長であった名誉顧問、第26期八柳昭義先輩が7年間の闘病生活の末、7月6日にご逝去されたとのこと。会報の最終稿に間に合わせるように、私も一緒に飲んでいたよと、声が聞こえてきそうです。心からご冥福をお祈りいたします。

畠先輩、八柳先輩、大変お世話になりました。どうぞ安らかに休んでください。お二人の在りし日の笑顔を思い出しながら献杯。

名誉顧問の八柳昭義さん(第26期)が2024年7月6日に逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げ、ここに謹んでご報告申し上げます。

能高生だより

～松陵健児の活躍～

軟式野球部 3年 工藤 晃斗

能代高校軟式野球部は一昨年、全国大会に出場することができましたが、昨年は秋田県大会で負けてしまいました。私は1年次から全国大会という大きな舞台でプレーでき、2年次には負ける悔しさを経験することができ、自分を成長させてくれる2年間でした。自分は怪我で思うように野球をすることができない時期もありました。自分だけ野球ができないのは悔しかったし、早く野球がしたいと思う毎日でした。それでも様々な人に助けられ、怪我を乗り越えることができました。携わってくださったすべての人に感謝したいと思っています。



今年は昨年の悔しさを糧に、チーム全員で全国大会優勝という目標を掲げました。現状の課題をなくせるように練習計画を立て、試合後は反省点を出して次の練習に生かす、その繰り返しで、より良いチームづくりに取り組んでいます。先日の秋田県大会では優勝し、西東北大会に出場することが決まりました。自分たちのプレーができるようにチーム全員で、一戦必勝で優勝してきます。応援してくれた保護者のみなさんや、指導して下さった先生方のためにも、全国大会優勝という恩返しができるように頑張ります。(7月執筆)



アースデイ能代実行委員会 3年 石井 瑠葉

アースデイとは、地球環境について考え、行動する日のことです。私の所属するアースデイ能代実行委員会は、能代高校生が主体となって、イベントの企画・運営などを行っています。

活動の一環として、たけや製パンさんと県内の高校がコラボする「バナナポート」の開発に携わる機会をいただきました。メンバー間で話し合い、能代高校の性格を生かした、私たちにしか作れない商品を考えるのは、想像していた以上に難しいものでした。白神ネギを使ってはどうか、はたまた白神山地をイメージしたデザインにするもの、など様々な意見が出た中で、最終的には、我が校の略称から着想を得た、「チョコっと濃厚(能高)ポート」が商品



化されました。夏休みの間、何度も試作品をいただいて、企業の方とやり取りをする際に、普段私たちが口にする商品がどのように作られているのかを覗くことができたのは、貴重な経験になりました。また、馴染みのスーパーに、茶色いパッケージがいくつも並んでいる場面を見かけたときの感動と達成感、間違いなく無二のものでした。

学校の代表として、私たちを選んで下さった先生方に、感謝の気持ちでいっぱいです。アースデイ能代が、より応援されるよう、また、今後も途絶えることなく続いていくよう、今の私たちができに精一杯取り組んでいきます。この文でアースデイを知ったあなたが、アクションを起こして下さったなら、それが何より嬉しいです。



2023年度 総会・講演会・懇親会報告

コロナ禍を経て盛大に開催

2023年10月7日(土)、アルカディア市ヶ谷で2023年度の東京同窓会総会・懇親会が開かれました。コロナ禍のため2020年と21年は中止、22年も制約がありましたが、今回は来賓と会員合わせて約90名が出席して盛大に開催されました。

来賓として、幹事会の会場を提供いただいているグッドライフケアの珍田純子代表(能代北高卒)をはじめ、秋田県東京事務所、秋田魁新報社、近隣高校の首都圏同窓会の方々をお迎えしました。

本校同窓会の山本達行新会長と荒川正明校長先生も、能代から駆けつけてくださいました。校長先生からは在校生が企画に参加した秋田県内限定販売のバナナポート「チョコっと濃厚(能高)ポート」が差し入れられ、思いがけないプレゼントに皆さん大感激でした。

総会では議長の高橋弘志さん(66期)のもと、2023年度活動報告・収支決算報告・監査報告、および2024年度活動方針案・予算案の5つの議案が審議され、いずれも承認されました。

にぎやかな懇親会の復活

続く講演会は38期の尺八演奏家、金野鈴道さんが「地球上最も簡素で最も芸術性の深い楽器、尺八の魅力」と題して、「春の海」「奥州薩慈(おうしゅうさし)」「愛の讃歌」の3曲の演奏と、二ツ井小学校でのふるさと公演の動画も交えて、奥深い尺八の魅力を熱く語ってくださいました。

懇親会は4年ぶりにアルコール付きで開催され、恒例の「初参加者紹介」は10名。会員有志の「松陵クワイヤ」による「秋田音頭・能代高校バージョン」のコーラス、大村小町(本名:柳谷真澄)さん(67期)の秋田漫談で大いに盛り上がりました。

一番若い参加者は20代の88期生でしたが、先輩たちも変わらずお元気な姿を見せてくださり、懇親会では宮腰興紀さん(29期)の乾杯の音頭、佐々木高博さん(26期)の樽子山時代のお話があり、熊谷幸夫さん(30期)の万歳三唱で締め切られて再会を誓い合いました。

(構成/会報誌グループ)

尺八は地球上最も芸術的な楽器

2023年度講演会講師、尺八演奏家
第38期 金野 鈴道(本名:金野 正道)

私の尺八のルーツは横笛です。能代高校で横笛の名手と親友になりその折、彼の演奏する「尺八」に出逢い、爾来小生の音楽観は一変しました。

尺八の魅力に衝き動かされた丁度その時、後に人間国宝をお受けになられる二代青木鈴慕師のこの世のものとは思えない「神の音」に遭遇、即刻に師事を願い出、新潟大学在学中は狂ったように「新潟・東京間」月イチのレッスンに通いました。

何がその魅力の根源かという、原始的簡素な創りと、発する音の深遠さでした。

洋楽器はメカニカルで理路整然、12個の音を操作して創り出す、芸術的なものです。

対して尺八は自然派生の真竹を切り、節を削り抜き、穴を5つ穿ただけの自然素材の「楽器」。奏法も指肉の3/4閉じや半開、更には顎の上下で微妙な音を創り出すという生身の操作です。

謂わば「洋楽器は階段状の発音」、「尺八はスロープ状の発音」とでも言えましょうか。

これでおよそこの地球上にあるすべての音を自らの肉体で表現でき、すべての手穴でポルタメント奏法が可能で、森羅万象・感情の迸りを思うまま心情表現ができるのです。

プリミティブ(原始的)な楽器ほど音律に血が通い、語り合いができ、奏者の人間性や感情の内面を曝け出してくれます。正に人間の声そのものです。これからも魂の語り合いは終生続けます。



尺八のほか横笛の演奏も披露した金野鈴道さん。

会員だより

脊柱管狭窄症に悩みつつの ヨタヨタ通信

第32期 笠原 強

私は、昨年の能代高校東京同窓会(東京市ヶ谷のアルカディア)をまざまざと思い出しています。

記憶を呼び起こすために、本校同窓会の会報「松陵」第35号の6面に掲載の、東京同窓会初参加者を紹介している写真の右片隅に私の姿がちょっとだけ写っているのを参照していました。

さて、私には傘寿を過ぎてなお関心を寄せているテーマがあります。その一つは「モトダテ一揆」と「武田重左衛門」であり、もう一つが私の郷里・秋田の「八森村松源院住職の富岳性円」が創った漢詩です。

前者については、太田實『朝霧の斗星たち——羽州安藤氏家臣団と本館一揆』という著書によって、後者については、鈴木勝男さん(第27期)が寄贈してくださった貴重な資料によって、それぞれ具体的な内容を知ることができます。

他方、同期の菊地豊さん(愛知県居住)が本年5月に逝くという不幸にも遭いました。長い間、旧交を温めてきた無二の親友を失って、さびしい心境しきりの今日この頃です。

けれども、来たる10月5日(土)の能代高校東京同窓会で吉田真由美会長をはじめとした同窓生の皆さんに会えるのを楽しみに、私も“永遠の青年”の気持ちを失わずにがんばりたいと思います。



チョコっと濃厚(能高)ポートと、ご来賓から差し入れていただいた苺大福。



総会・懇親会に久々の参加

第50期 伊川 千良

千葉県在住の私が遡ること43歳の時に初めて総会・懇親会に参加し、終了後は実に爽快な気分になりました。秋田弁で語りあえる場合は、最高の寛ぎでした。その後、数年間は連続参加ができましたが、以降、業務の都合で調整が付かなくなり、残念なことに足が遠のいてしまいました。永らく欠席してしまったのは非常に残念でした。私がこの能高東京同窓会の存在を知るきっかけは能高広報誌もしくは、帰省した際に読んだ地元紙のいずれかでした。私事で恐縮ですが40歳過ぎから新しい部署で勤務環境が激変し、なかなか思い描いたような仕事ができず、ジレンマに陥っていました。そんな頃に東京同窓会の存在を知り、参加したのでした。同じ校舎、同じ環境で学んだ人々が持つパワーは計り知れないものでした。何気ない会話でも温かさを感じて心身とも軽くなり、プラス思考で物事を捉えることができるようになりました。

時代は令和に入りコロナ禍の真っ只中、人々の

湯島で同窓生に会える店

あぐ・雲飾料理
上野 きくち

通算43期(新制25期) 菊池 忠夫 白神山(藤里町)出身

千代田線湯島駅6番出口
徒歩1分
(大手町から北千住へ向かって最後方出口)
東京都台東区上野1-12-2
亀田ビル 1F ☎110-0005

ご予約をおすすめします

03-3839-3382

接触も制限されている状況下で定年退職を迎えました。現在、再就職先では仕事に追われる感覚も消え、コロナが第5類に移行したこともあり、徐々に令和5年の総会・懇親会へ参加させていただきました。

懐かしい方々のお元気なお姿を拝見し、再び元気を貰いました。総会・懇親会ともに随所に工夫が凝らされて感心したり、唸ったり、笑ったりの連続でした。同級生とは、自身の生活、家庭のことなども交えて話すなど、会話内容も高校時代とは違って人生の円熟さを感じたりもしました。楽しい時間はあっという間に経過し、特に校歌斉唱時は愛校心を込めて歌い、3年間の高墙の香りを感じ取りとても嬉しくなりました。

今後皆さんと親交を深めていきたいと思っていますので、ぜひ若い方も参加していただきたいと思います。

同窓生との空間の価値

第54期 鷲谷 明子

懇親会で披露された「秋田音頭(能代高校バージョン)」に合いの手を入れていたら、当時の記憶がぱっと蘇って、気持ちが明るくなりました。

私はいけばな草月流の師範理事を拝命しておりますが、ビジネス発展につながるようなお話をいただいたり、親戚の同級生の方たちからお声がけいただいたり、沢山の方たちと同窓生であるということを通して「つながってるな」と感じ、同窓会初参加でしたが終始居心地よく参加させていただきました。



総会・懇親会に初参加した10人に自己紹介していただきました。

きました。

さまざまな世界で活躍されている同窓生の存在を知って、改めて母校を誇りに感じましたし、20代30代の若い参加者がいることも嬉しく、同郷・同窓ならではの関わり合い、空間の価値を感じていました。

私の期は1クラスに男子が30名、女子が10名余りで、先生からも男子生徒からも女子は大切にされて過ごした楽しい高校3年間でした。

休み時間、廊下から教室まで勢いよく駆け抜けて窓から雪の積もった中庭にダイブ、飛距離を競い合う男子たちの姿に笑い、真夏の体育授業ではプールサイドに男子たちがずらっと並んで水着姿の女子の登場を奇声をあげて迎え入れる儀式、学園祭キャンプファイヤーでときめきながらのフォークダンス。きらきらしていた当時からいとおしく思い出されます。

会の中で、少子化により生徒数の減少傾向が止まらないと聞きました。母校存続の為に同窓生ができることはないのか?みんなで検討・協力できたらいいなと感じました。



「秋田音頭(能代高校バージョン)」の歌唱より、自在の像のポーズを取る場面(写真提供:北羽新報)。

総会で恩師と再会

第83期 笠井 織夢

ご縁から能代高校の東京同窓会の総会・懇親会に参加させていただきました。

総会の祝辞では、山本達行同窓会会長代理がお話しになりました。山本会長代理(現在は会長)は平成22年に能代高校の校長として勤められており、その当時私は能代高校1年生でした。

懇親会の祝辞では、第53期生で能代高等学校長の荒川校長(現在は秋田県総合教育センター)がお話しになりました。荒川先生は私の学生時代、数学の教鞭を執っておられました。

お二方のお話を拝聴していると、授業の風景や同級生との会話が思い出されてきて、懐かしい想いで心が和みました。

会の中、両先生へご挨拶に伺いました。話し方も当時と全く変わらず、自然と笑みがこぼれました。10年以上経って、先生方とお話しをする事ができるとは思ってもいませんでした。大変貴重な機会となりました。それも本会に参加させていただいたおかげだと思います。

こういった懐かしい出会いがあるかもしれませんので、ご興味ある方はぜひ、同級生を連れてお越しください。



懇親会の締めは万歳三唱。



市ヶ谷の居酒屋で二次会を催しました。

東京同窓会の同好会

東京同窓会の同好会を紹介します。参加希望や新たな同好会の提案等は事務局へご連絡ください。

メールアドレス:NoshiroHTR@gmail.com

◇能高五日会

若手同窓生(第45期より下)の親睦と交流を目的にした懇親会を開催。次回は今年9月13日に開催を予定しています。代表者:高橋弘志(第66期)

◇能球会

東京近郊のコースでゴルフを楽しんでいます。2024年4月18日に浦和ゴルフ倶楽部で実施した会には12人が参加しました。次回は今年10月17日(木)に千葉県袖ヶ浦市の東京湾カントリークラブで開催予定です。代表者:石井鉄美(第50期)



◇能高釣クラブ

自然を満喫しながら、溪流釣を楽しみます。代表者:小河範也(第41期)

◇東京探訪の会

あまり触れることのない「東京」を訪ね、約2時間のコースを散策。代表者:吉田真由美(第46期)

◇能高バスケの会

能代カップ等の観戦、本校バスケットボール部やOB会との交流など。代表者:片谷浩之(第49期)

介護 看護 リハビリ

福祉用具 ケアマネ

GOOD LIFE CARE

自宅で過ごす「かけがえのないひととき」を
「住み慣れた家で、最期まで過ごしたい」という願いに
在宅医療と介護の専門チームで支援いたします。

株式会社グッドライフケア東京

TEL 03-3537-0790(代表)

東京都中央区新川 1-23-5 ONE SHINKAWA 3階

GOOD LIFE CARE

企業・個人のお困りごと
お気軽にご相談ください

弁護士法人
AK法律事務所

弁護士 野村信之

第二東京弁護士会所属

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町2-7
協販ビル7階

TEL: 03-3518-2233
FAX: 03-3292-0234
Email: nomura@aklaw.jp
URL: https://aklaw.jp

2024年度(令和6年度)収支決算報告書(2023年8月1日~2024年7月31日)

収入の部			支出の部		
項目	予算	決算	項目	予算	決算
総会収入	628,000	638,000	総会費	880,000	893,252
会費収入	340,000	356,000	組織拡張費	60,000	140,100
雑収入	48,010	77,538	一般管理費	76,010	49,302
当期収入合計	1,016,010	1,071,538	当期支出合計	1,016,010	1,082,654
			当期収支	0	△11,116
			前年度繰越金	1,131,780	1,131,780
			翌年度繰越金	1,131,780	1,120,664

★会報には簡易版を掲載しています。総会資料、東京同窓会ホームページでは詳細をご覧ください。

【会費納入のお願い】

◎会員の皆様から納入いただいている年会費は主に会報の発行と、総会開催に掛かる費用に充当されています。今後とも納入にご協力をお願いいたします。

- 年会費は2,000円です。
以下の納入方法があります。

①郵便振替払込(手数料は同窓会が負担)

会報に同封した赤色の用紙をご利用ください。現金で入金の場合は、払込人に「現金利用時の加算料金」110円がかかります。通帳・カードを使用すればかかりません。

②ゆうちょ銀行へ振込

下記「年会費振込先」の口座へお振り込みください。振込手数料はご負担願います。

ゆうちょダイレクトをご利用の方は、インターネット経由で送金すると手数料は無料です。

③総会の会場で納入

出席の方は受付で現金をお預かりします。

●年会費振込先

- ◇郵便払込口座番号 00150-7-27459
加入者名 能代高校東京同窓会
- ◇ゆうちょ銀行 〇一八(ゼロイチハチ)支店
普通預金 5914261
名義 能代高校東京同窓会

【ホームページが新しくなりました】

■東京同窓会のホームページをリニューアルしました。新しいURLをお知らせします。旧ホームページのコンテンツは順次移行する予定です。

能代高校東京同窓会
ホームページ
<https://shoryokenji.com/>



【東京同窓会事務局へのご連絡】

■能代高校東京同窓会事務局へのご連絡はEメールでお送りください。

専用メールアドレス：
NoshiroHTR@gmail.com



【公式X(エックス)のお知らせ】

能代高校東京同窓会【公式】
@NoshiroHStokyo

■上記アカウントの東京同窓会の公式X(旧Twitter)で、2023年1月から投稿しています。アカウントをお持ちの方はぜひフォローをお願いします。

松陵健児

能代高校東京同窓会 会報 第34号

発行日 2024年9月1日

発行 能代高校東京同窓会

発行責任者 吉田 真由美

編集 会報誌グループ

印刷 株式会社 毎栄

■能代高校東京同窓会事務局

E-mail : NoshiroHTR@gmail.com

Website : <https://shoryokenji.com/>

工学部
宇宙・半導体工学科

2025年4月、誕生

【機械電子創成工学科から改組予定】
※設置構想中のため、内容が変更になる場合があります

「超小型衛星」が
この夏、宇宙へ飛び立ちます

本学では拡大する宇宙産業を支えるため、宇宙で機実体動くものづくりができる「高度技術者育成プログラム」を実施しています。

「超小型衛星」の外観

OPEN CAMPUS
新習志野キャンパス

8/3 10:00~15:30

事前予約不要
入退場自由

公式WEBサイト ▶

千葉工業大学
CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

TEL.047-478-0222(入試広報部)
〒275-0016
千葉県習志野市津田沼2-17-1